



開かれた未来へ。

筑波大学

University of Tsukuba

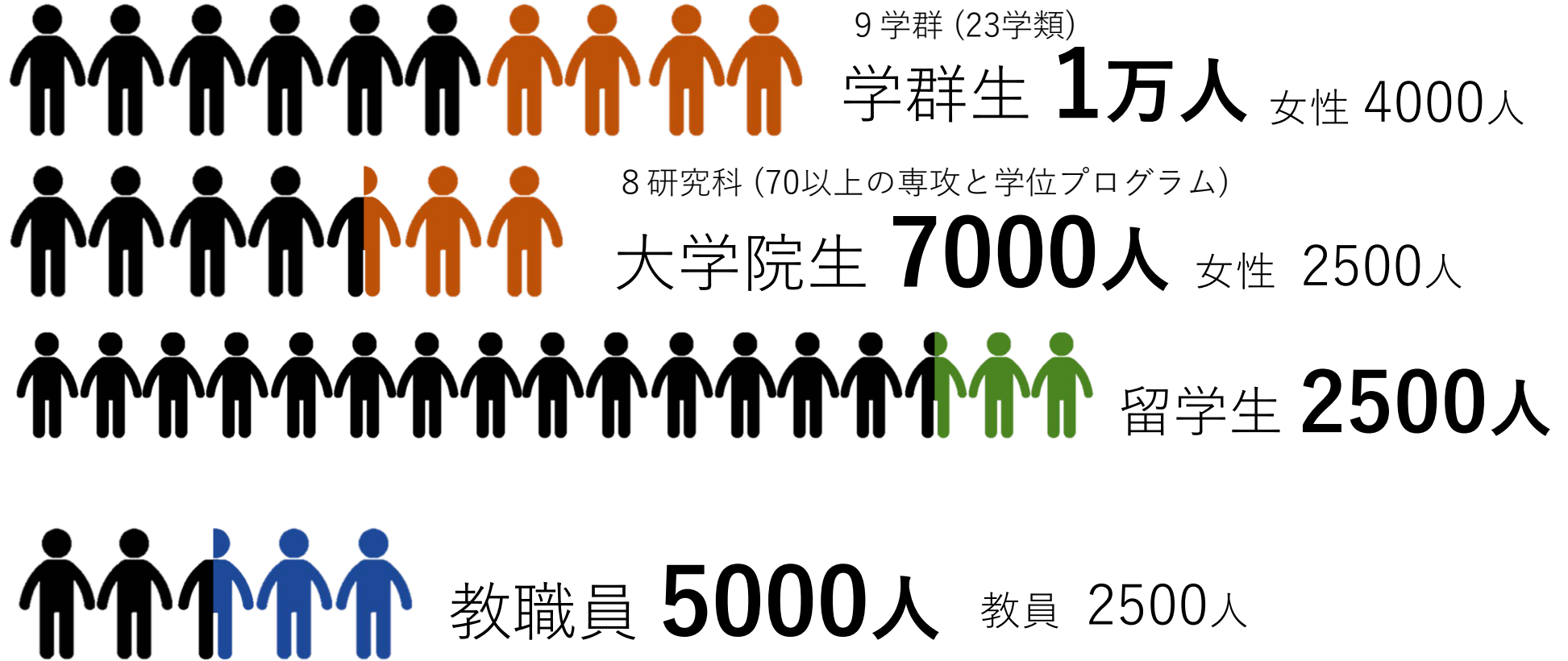
学生生活にかかる喫緊の課題に関するセミナー  
「性的指向・性自認の多様な在り方の理解増進」

# SOGI/LGBT+に関する 筑波大学の取組

筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター

河野禎之

# 筑波大学の概略



**学群**  
 9 学群  
 (23学類)

**大学院**  
 8 研究科  
 70以上の専攻と  
 学位プログラム

**附属学校**  
 11学校  
 5 特別支援学校  
 6 小中高

**附属病院**  
 800床  
 36診療グループ

**研究  
 センター等**



# 支援体制

## 筑波大学ダイバーシティ基本理念

「1. 性別、国籍、年齢及び障がいの有無にかかわらず、すべての人の人権の尊重、個人の尊厳の確立」

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターにおける学生支援の共通理念

→ 困難さ（苦手さ）やつまずきのみに対してアプローチするのではなく、強みを伸ばす教育的支援



学生生活において、さまざまなリスク  
や困難を抱える可能性が高い

## 大学側が支援体制/環境を 整えるべき理由の1つ

メンタルヘルス/リスクマネジメント/権利擁護的側面

# “守り”の視点

“攻め”の視点

イノベーション創出の源泉

||

人材／環境の多様性

ダイバーシティ・マネジメント的側面



# 主な取組

1. 基本理念と対応ガイドライン  
/ワークシート
2. 学内外の関係者/当事者との  
連携/協働

# LGBT等に関する 筑波大学の 基本理念と 対応ガイドライン

平成29年3月策定/公表  
平成30年3月改定/公表

筑波大学DACセンターHP  
もしくは「筑波大学」「LGBT」で検索

[http://diversity.tsukuba.ac.jp/?page\\_id=9492](http://diversity.tsukuba.ac.jp/?page_id=9492)



# LGBT+

等\*に関する  
筑波大学の基本理念と  
対応ガイドライン

\*LGBT等とは、Lesbian・Gay・Bisexual・Transgender及び他のセクシュアリティを含む総称とします。  
これらカテゴリーに直接当てはまらない当事者もありますが、本基本理念とガイドラインにおいては包括しています。





開かれた未来へ。

筑波大学

University of Tsukuba

# 筑波大学におけるLGBT等の 性自認及び性的指向を理由 とした差別の禁止及び解消 に関する基本理念

建学の理念に「開かれた大学」を掲げ、教育・研究に多様性と柔軟性を追究する筑波大学にあっては、**本来違いを持つ学生及び教職員がすべて尊重される**ことは言うまでもありません。

少数者にあたるLGBT等（Lesbian・Gay・Bisexual・Transgender及び他のセクシュアリティを含む）への対応について、我が国における大学改革を先導する本学は、以下の方針により責任を持って対応します。



開かれた未来へ。

筑波大学

University of Tsukuba

# 少数者を 差別しません

性自認や性的指向は本学が重視する本人の能力とは無関係であり、少数者ということで差別や嫌がらせがあってはなりません。これらは本学のダイバーシティ基本理念に反するものです。



開かれた未来へ。

筑波大学

University of Tsukuba

性自認や性的指向に関わる情報やその開示・非開示、またそれらの表現は、当事者の意思でコントロールされるものであり、他者から不当に侵害されることがあってはなりません。

自己決定を  
尊重します



開かれた未来へ。

筑波大学

University of Tsukuba

# 修学・サービスの 妨げを取り除きます

LGBT等の少数者にとって修学・サービスの妨げとなる事柄は、適切な過程による合意形成を経て、合理的な範囲で取り除かれなければなりません。



開かれた未来へ。

筑波大学  
University of Tsukuba

地球規模課題の解決の先頭に立つ本学において、個性と多様な能力が発揮されることは、未来地球社会に求められる**イノベーションの創出という目標の出発点**にあります。

そのため、本学は**学生、教職員を問わず全構成員を対象**とした上記の基本理念を掲げ、さらに以下の具体的な対応を行います。





開かれた未来へ。

筑波大学

University of Tsukuba

# 対応ガイドライン

# ガイドラインの項目

- 1) 相談について
- 2) 氏名・性別の情報とその管理について
- 3) 授業について
- 4) 学生生活について
- 5) 就職活動・キャリア支援について
- 6) 周囲の対応、特にカミングアウトについて

付録- ツールボックス



開かれた未来へ。

筑波大学  
University of Tsukuba

# 1) 相談について

## ① 相談窓口

- ・ DACセンターにて開設  
「LGBT等に関する相談窓口」
- ・ 対象：学生・教職員・家族

カミングアウトを  
受けた側も可能



## 2) 氏名・性別の情報と その管理について

### ① 氏名の変更

- 教育組織内等での通称名：使用可
- 学籍簿：一定の条件のもと、申立書の提出により、自認する性に基づく氏名とすることが可能

## 2) 氏名・性別の情報と その管理について

### ② 性別の変更

- 戸籍の性別の変更に伴う場合を除いて、学籍簿等での性別の変更は対応できない（平成30年3月時点）
- ただし、性別情報が限られた範囲で、慎重に取り扱われることを推進

## 2) 氏名・性別の情報とその管理について

### ③ 性別情報の取扱い ※アウトティング防止

#### • 名簿

- 学生に配布・掲示する場合、原則としていかなる文書についても性別欄を除外して配布・掲示

#### • TWINS（履修/成績等の管理システム）

- 性別情報へのアクセス：指導教員・組織長・教務担当／学生担当の職員
- 性別情報の慎重な取扱いを求める



## 5) 就職活動・ キャリア支援活について

### ① 就職活動・インターンシップ

- キャリア担当と連携。キャリアカウンセラーとともに考えることが可能。

### ② LGBT等当事者にとっての就職活動

- 当事者にとって就職活動は大きな転機（直面化する「壁」）
- ワークシートを準備



| 就職活動の前にシート   |               | 記入日 年 月 日  |
|--|---------------|--|
| チェックは該当する箇所は全て入れ、該当しない箇所には入れません。必要ない事項は記入しなくて結構です。 |               |  |
| (1) キャリアの希望  |               | <input type="checkbox"/> ①大きな組織で働きたい(大企業、公務員、教員等)<br><input type="checkbox"/> ②中小の組織で働きたい(中小企業、一般的なNPO等)<br><input type="checkbox"/> ③私という個人の単位で働きたい(個人事業主、フリーランス等)<br><input type="checkbox"/> ④組織の大小といった枠にとらわれずに働きたい <input type="checkbox"/> ⑤起業したい<br><input type="checkbox"/> ⑥その他( )   |
|  |               | 上記の優先順位→ 1 番目( ) 2 番目( ) 3 番目( ) それ以降( )   |
| (2) 働き方の希望   |               | <input type="checkbox"/> ①一貫してマジョリティの人と変わらない働き方をしたい<br><input type="checkbox"/> ②できるだけマジョリティの人と変わらない働き方をしたい<br><input type="checkbox"/> ③当事者として必要な支援を必要に応じて受けながら働きたい<br><input type="checkbox"/> ④就労という形態にこだわらない<br><input type="checkbox"/> ⑤その他( )   |
|  |               | 上記の優先順位→ 1 番目( ) 2 番目( ) 3 番目( ) それ以降( )   |
| (3) 就職において、私自身について重視すること                           |               | <input type="checkbox"/> ①条件(給与、配置等)を妥協しても、自分のアイデンティティや理想を極力通すこと<br><input type="checkbox"/> ②アイデンティティの面で多少妥協しても、よい待遇(給与、配置等)を得ること<br><input type="checkbox"/> ③アイデンティティと条件のどちらも極力妥協せず最適なバランスを取ること<br><input type="checkbox"/> ④わからない、自分の中で答えが出ていない <input type="checkbox"/> ⑤そもそも気にしていない<br><input type="checkbox"/> ⑥その他( )  |
|  |               | 上記の優先順位→ 1 番目( ) 2 番目( ) 3 番目( ) それ以降( )   |
| (4) 就職先全般に求めること                                    | (a) LGBT等について | <input type="checkbox"/> ①理解がある <input type="checkbox"/> ②支援制度がある(希望する氏名、同性パートナー等)<br><input type="checkbox"/> ③不利益への救済制度がある <input type="checkbox"/> ④理解・支援について認証を得ている<br><input type="checkbox"/> ⑤当事者のロールモデルになる人がいる <input type="checkbox"/> ⑥アライ(連帯者)がいる<br><input type="checkbox"/> ⑦当事者への差別や不適切な言動に対し、毅然とした対応が取られる<br><input type="checkbox"/> ⑧当事者の能力を最大限に発揮させてくれる<br><input type="checkbox"/> ⑨LGBT等という概念自体を持たない/感じさせない<br><input type="checkbox"/> ⑩LGBT等に限らず、マイノリティへの適切な意識や対応がある<br><input type="checkbox"/> ⑪その他( ) |
|  | (b) 社員等に対する方針 | <input type="checkbox"/> ①LGBT等に限らず、個人が最大限重視される<br><input type="checkbox"/> ②LGBT等であるかに関係なく、成果や能力を公平に評価してくれる<br><input type="checkbox"/> ③LGBT等に限らず、マイノリティを積極的に採用・登用している<br><input type="checkbox"/> ④同業他社より待遇がよい <input type="checkbox"/> ⑤やりがいや生きがいを与えてくれる<br><input type="checkbox"/> ⑥家族的な一体感や連帯感の重視 <input type="checkbox"/> ⑦プライベートに介入しない<br><input type="checkbox"/> ⑧その他( )  |

筑波大学DACセンターHP  
 もしくは「筑波大学」「LGBT」で検索

[http://diversity.tsukuba.ac.jp/?page\\_id=9492](http://diversity.tsukuba.ac.jp/?page_id=9492)



開かれた未来へ。

筑波大学

University of Tsukuba

# 学内外の関係者/ 当事者との連携/協働



# 授業/FD研修/セミナーの開催

筑波大学第2回全学FD研修会 主催：筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター

## SOGI (性指向・性自認) /LGBT+と大学

2018年6月6日(水) 15時00分～17時00分  
筑波大学 総合研究棟A 110公開講義室 ※参加費無料

基調講演 「SOGI (性指向・性自認) /LGBT+と大学」  
三橋 順子 氏 性社会・文化史研究者/明治大学文学部非常勤講師

1935年埼玉生まれ。性社会・文化史研究者。明治大学、都立文科大学、関東学院大学非常勤講師。専門は日本におけるジェンダーとセクシュアリティの歴史、とりわけトランスジェンダー(性別越境)の社会・文化史、買売春の社会史。2000年、中央大学文学部兼任講師として日本初のトランスジェンダーの大学教員となる。2005年には、お茶の水女子大学で日本初の「トランスジェンダー論」の専論講座を担当。著書に『女装と日本人』(講談社現代新書)、共編著に『性史の研究 東京のエロ地理編』(平凡社)など。主な論文に「性と愛のはざまー近代的ジェンダー・セクシュアリティ観を疑うー」(『講座 日本の思想 第5巻 身と心』岩波書店)など。

15:00～15:20 開会挨拶/ガイドラインの改訂について  
五十嵐尚也 ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター長

15:20～16:55 基調講演 三橋順子氏 性社会・文化史研究者/明治大学文学部非常勤講師

16:55～17:00 開会挨拶 船岡敏之 副学長(総務・人事担当)

申込：下記のWebページにある申し込みフォーム、QRコードにて  
締切：6月4日(月) 当日参加歓迎(会場準備の都合により事前予約をお願いしています)  
対象者：筑波大学教職員、大学院生、大学生、一般の方(学外者は締切までにご登録をお願いします)

★会場までのアクセス例(詳細は大学HPにてご確認ください)  
つくば駅(つくばセンター)より、バス乗り場6番から「筑波大学中央行き」か「筑波大学基盤バス(左回り・右回り)」に乗り「筑波大学中央」で下車。バス停から案内板に従って西へ進んでください

問い合わせ先  
筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター  
TEL: 029-853-8504 FAX: 029-853-8505 E-mail: dcs@un.tsukuba.ac.jp  
URL: http://diversity.tsukuba.ac.jp または「筑波大学 ダイバーシティ」で検索



平成30年度 大学院共通科目【01ZZ503】  
科目名「ダイバーシティと男女共同参画」

学群生も参加歓迎!  
\*学群生の参加の場合は単位は取得できません。

## ダイバーシティ × ジェンダー

さまざまな可能性(多様性)の中で働くこと、生きることを知ろう!

9月19日(水) 10時～17時30分 @3B棟213

<前半>  
ワークライフバランスと男女共同参画、ダイバーシティを理解するための講義とグループワークを中心に実施します。

<後半>  
特に重要なテーマであるセクシュアル・マイノリティ(LGBT/SOGI)に関する講義とグループワークを実施します。

9月22日(土曜) 10時～12時@つくば国際会議場  
つくば国際会議場で開催される Tsukuba Global Science Week (TGSW2018) のセッションのうち、ダイバーシティ推進をテーマとしたセッションを聴講します。

9月22日(土曜) 14時～17時30分@3B棟213  
聴講した内容を踏まえ、ダイバーシティ推進に関するグループワークを実施します。

履修登録期間：9月13日(木)まで 担当教員：河野 慎之 (OACセンター)  
履修の問い合わせ：大学院共通科目事務局 gpc@un.tsukuba.ac.jp

- ★ 学群生の受講希望も上記共通科目事務局にお問い合わせ下さい。
- ★ 大学院共通科目の単位履修のためには2日前までの出席を前提とします。

「筑波大学 ダイバーシティ」で検索、または、<http://diversity.tsukuba.ac.jp/>





# Diversity Week



NPOと連携で写真展 OUT IN JAPAN を開催 (学生も協力)

2018年は図書館も協力

学内外の幅広い人へ当事者の姿と思いを届ける

# アライ・プロジェクト

「アライ」とは、英語で「同盟、支援」を意味するallyが語源です。私たちは、LGBT（レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー）だけでなく、いわゆるストレートを含む多様なセクシュアリティの存在を認識し、共にいること／在ることを表明する人を、当事者・非当事者を問わず指す言葉として使います。同時にアライは、私たち全てが一人ひとりオリジナルなセクシュアリティを有するかけがえのない存在であることを尊重します。

アライシンボルマークが持つ3つの要素



このマークには「太陽」、「波紋」、「紫陽花」の3つのシンボルが描かれています。それぞれに込められた意味を融合しアライシンボルマークが完成しました。

|   |  |
|---|--|
|  | <b>太陽</b><br>太陽は全ての生命と色の源であり、あらゆる人々を照らし、世界に彩りを与えます。このマークに描かれた太陽も全ての人々を平等に照らし、多様な輝きを生む光を放ちます。                     |
|  | <b>波紋</b><br>水面に小石を投げると綺麗な波紋がゆるやかに広がり、消えていくように、小さな一歩でもセクシュアリティへの偏見を少しずつ消していき、いつしかマイノリティが特別な存在ではなくなるイメージを表現しています。 |
|  | <b>紫陽花</b><br>白く潔白な美しさを持った白い紫陽花の花言葉は「寛容」を意味します。ありのままの多様なセクシュアリティについて、自分に対しても他者に対しても寛容であることを表します。                 |

- 学生とNPOと連携でアライに関するシンボルマークと啓発パンフレットを作成（アライの説明も独自に作成）
- 大学生向けの研修プログラムを開発中
- 当事者/非当事者を問わず多様性を前提としたキャンパスへ



# 取組の成果

## ① 当事者学生の反応

- 「この大学にいていいんだ」

## ② 一般学生の反応

- 授業/セミナー等への参加

空気を作る/  
浸透させる  
難しさ

## ② 教職員の反応

- 自主的な性別情報の取扱への取組/勉強会の実施 → 特に反発はなし（他人事？）

# 今後の展望

- 性的指向（LGB）に関する支援体制の模索
- 大学としての支援の線引き
- 教職員への支援
- 当事者の主体的な活動の支援

多様な人材が各々の能力を発揮できること



大学に求められるイノベーション創出の源泉



そのために必要な支援・環境の整備を検討